

地区名 能代市・山本郡

所在地 山本郡三種町豊岡金田

バス駐車 × 大地のつくり

トイレ × 水のはたらき

露頭までの道のり

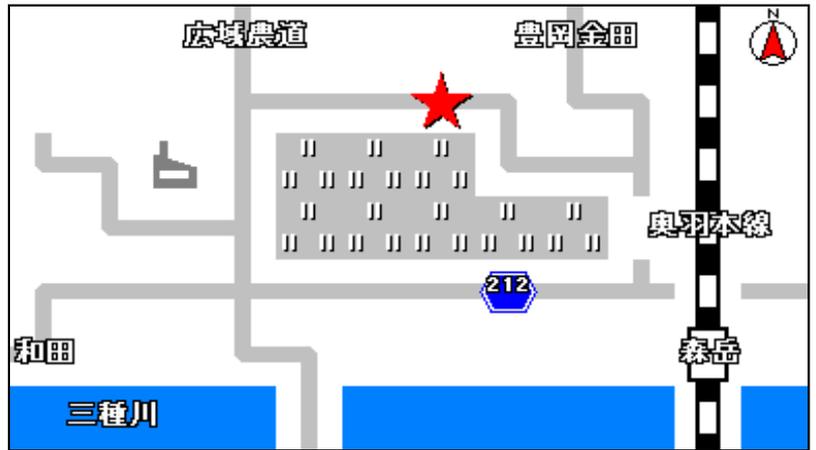
能代山本広域農道の広域コミュニティロード周辺にあり、田んぼに隣接している。能代方面からくると分かりづらいが、逆方向に広域農道を進めば比較的分かりやすい。

安全上の留意点

農道沿いなので、農作業をしている方々の車が通る。交通事故には注意させたい。また、田んぼに水をひく用水路も平行してあるので、落ちたりしないよう目配りが必要。季節によってはこのようにやぶになるので、活動範囲を制限して死角を作らないように配慮する。

観察のポイント

- ①大きな地層の広がりを感じる。
- ②地層が奥まで続いていること。
- ③泥岩や砂しかないこと。
- ④角ばった火山岩が見あたらないこと。



地質年代

新第三紀中新世後期(5~600万年前)

露頭概観

指導形式

B

解説

船川層とみられ泥岩(シルト質)や砂岩の層が広がっている。ぱらぱらと崩れている石を拾い、手に付いた粒を指の腹でこすりあわせてみると粒を感じないくらい細かいことが分かる。周囲にはこのように泥や砂でできた石しか見あたらないため「水のはたらき」でできた大地だと判断できる。

地質図だと、天徳寺層という船川層よりは若い層があってもよい地域であるが、天徳寺層は粒が比較的粗く、手のひらで粒を感じることができるので、この場所は船川層とした。(筆者独自調査)



手で割るのが少々難しい硬い泥岩ばかりを目にすることができる。手に取ったらぜひルーペで粒の大きさを観察し、手触りを感じて欲しい。



泥ばかりだが、堆積した層が何枚もあるように見える。風化により、ぱらぱらと細かい破片となって崩れてくる。



露頭はご覧のように上部から崩れてきた細かな泥岩で下部が覆われている。無理をして上ことはさせず、手の届く場所で観察をさせたい。